

「都ぞ弥生」百年記念展 関連セミナー

北大総合博物館 土曜市民セミナー  
(道民カレッジ連携講座)

# 都ぞ

これまでの百年

これからの百年

明治四十五年(1912)に恵迪寮寮歌「都ぞ弥生」が誕生して今年で百年になる。しかし、「都ぞ弥生」は一日にして成ったのではない。明治五年に札幌農学校の前身「開拓使仮学校」が芝増上寺内に設置されて以来四十年にわたる若者たちの苦闘と希望が、作歌の横山芳介と作曲の赤木颯次によって結晶されたものである。

恵迪寮の名は「都ぞ弥生」のメロディーによって満天下に広まり、多くの青年たちを北の大地に招いてきた。そして、今もなお、かつて寮生だった者たちの胸に万感を呼び起こす。

戦中・戦後の激動する時代においても、高度経済成長を経てバブル経済へと至る飽食の時代にあっても、恵迪寮生たちは「都ぞ弥生」を歌い続けてきた。「都ぞ弥生」は、厳しい北の自然の中で、自らを高め、自らを律し、自らを成長させようと願う若者たちの歌であった。

札幌農学校の寄宿舎として開舎され、明治三十九年に命名された恵迪寮の歴史をたどりながら、あらためて「都ぞ弥生」これまでの百年とこれからの百年に思いをはせる。

佐川 光晴(昭和五十八年入寮)

講師 佐川 光晴



(小説家・北海道大学 法学部 卒)

平成24年6月9日(土)午後2時30分～

会場：北海道大学 クラーク会館 大講堂 (北8条西7丁目) 入場無料

【注意】：セミナー会場は、総合博物館ではありません



お問い合わせ：北海道大学総合博物館 (Tel : 011-706-2658 or 3607) まで  
博物館ホームページ <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>